

主催 公益社団法人 八幡／若松／小倉／門司／行橋法人会



# 歴史の岐路に立つ日本 ～私たちは今、何をすべきか～

講師 作家・ジャーナリスト

かどた りゅうしょう

## 門田 隆将 氏

### 略歴

1958年高知県生まれ中央大学法学部卒業後、新潮社入社。  
週刊新潮編集部で記者、デスク、次長、副部長を経て2008年独立。  
“毅然と生きた日本人像”をテーマに幅広い分野で著作を発表。  
『この命、義に捧ぐー台湾を救った陸軍中將根本博の奇跡』（角川文庫）で第19回山本七平賞受賞。  
『甲子園への遺言ー伝説の打撃コーチ高島導宏の生涯』（講談社文庫）、  
『なぜ君は絶望と闘えたのかー本村洋の3300日』（新潮文庫）、『死の淵を見た男ー吉田昌郎と福島第一原発』（角川文庫）、『新聞という病』（産経新聞出版）、『疫病2020』（同）、『新・階級闘争論』（WAC）、『日中友好侵略史』（産経新聞出版）等々、ベストセラー多数。  
最新刊は、知られざる尖閣戦時遭難事件での日本人の不屈の戦いを描いた『尖閣1945』（産経新聞出版）。  
WOWOWでドラマ化された『なぜ君は絶望と闘えたのか』は文化庁芸術祭テレビ部門で大賞受賞、『死の淵を見た男』原作の映画『Fukushima50』は日本アカデミー賞最多6部門で最優秀賞受賞。  
読売テレビ「そこまで言って委員会NP」やインターネット番組など多数出演。

### 著書

- 『狼の牙を折れ』（小学館 2024）
  - 『消えゆくメディアの「歴史と犯罪」』（ビジネス社 2023）
  - 『尖閣1945』（産経新聞出版 2023）
  - 『奇跡の歌』（KADOKAWA 2023）
  - 『リーダー3つの条件』（ワック 2023）
  - 『日中友好侵略史』（産経新聞出版 2022）
  - 『“安倍後”を襲う日本という病』（ビジネス社 2022）
  - 『敗れても 敗れても』（中央公論新社 2022）
  - 『世界を震撼させた日本人』（SBクリエイティブ 2022）
  - 『日本、遥かなり』（KADOKAWA 2021）
  - 『中国の電撃侵略 2021-2024』（産経新聞出版 2021）
  - 『米中“文明の衝突”崖っ淵に立つ日本の決断』（PHP研究所 2020）
  - 『愛する日本人へ 日本と台湾の橋となった巨人の遺言』（宝島社 2020）
  - 『汝、ふたつの故国に殉ず』（KADOKAWA 2020）
  - 『新聞という病』（産経新聞出版 2019）
  - 『死の淵を見た男』（KADOKAWA 2019）
  - 『オウム死刑囚』（PHP研究所 2018）
- 他多数

日時

# 令和7年 2月19日(水)

対象

## 会員・一般

開始17:00～18:30 受付開始は16:30から

場所

## JR九州ステーションホテル小倉 5F 飛翔

福岡県北九州市小倉北区浅野1-1-1

参加料 無料  
(定員 約200名)

下記の申込書に記入の上、FAXか郵送にてお送りください

- ①開催の延期、中止につきましては、ホームページ等でお知らせします。
- ②本申込により収集された個人情報、本事業の運営管理のためにのみ利用させていただきます。

### 受講申込書

※下記「受講申込み事項」欄にご記入のうえ、最寄り又は所属の法人会事務局までFAX又は郵送にてお申込みください。  
※申込締切日は令和7年1月31日(金)です。

法人会名	会員	郵送申込先	申込先 FAX	受講申込み事項(下記に必要事項をご記入ください。)
八幡		〒805-0062 北九州市八幡東区平野2-13-5号 八幡税理士会館2階 TEL:093-661-5793	093-661-2733	(フリガナ) 会社名
若松		〒808-8585 北九州市若松区本町1-13-15 石炭会館2階 TEL:093-761-5062	093-751-7730	(フリガナ) 受講代表者 (連絡先TEL: )
小倉		〒802-0081 北九州市小倉北区紺屋町13-1 毎日西部会館7階 TEL:093-511-5283	093-511-5259	受講者数 名(会員: 名、一般: 名)
門司		〒801-0863 北九州市門司区栄町2-3 ニックビル3階 TEL:093-332-2956	093-332-2967	ご留意事項 ※左記法人会の会員企業の方は、左記「会員」欄にレ印をお付けください。
行橋		〒824-0005 行橋市中央一丁目9番50号 行橋商工会議所2階 TEL:0930-25-2473	0930-25-2483	